

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広  
報

# おいらせ

Public Relations  
July  
2011  
No.77

## 郷土の誇り背負い 勝利を目指す

第34回上北郡総合体育大会は6月11、12日の両日、六戸町を主会場に開かれた。サッカー男子の部は準優勝。準決勝（野辺地町戦）でディフェンダーと激しく競り合い、強烈なシュートを放つ越沢篤選手（14番）

Special Edition

われら  
太平洋の  
架け橋とならん

2011 中学生海外派遣

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

※ Oirase Town Information ※

おいらせ自慢の風景「おいらせ町景観百選」

File\_04



本村のアヤメ

袴田クニさん（本村）らは正福寺の北側にある休耕田を利用し、アヤメ、カキツバタやハナショウブなどを植えている。6月下旬から7月上旬になると、色とりどりの花が美しく咲き乱れる。地域の人々だけでなく、町外の老人ホームなどからも多くの人が訪れ、花を愛でる。小さいけれども、地域の人々の思いが詰まった観光スポットだ。

おいらせが全国に誇るブランド

Oirase's Brand

えごま油



エゴマは古くから「ジュネ」と呼ばれ愛されてきた食材だ。低温生搾りにこだわった「えごま油」は、体に良いαリノレン酸などを多く含む。

●おいらせ新鮮市場（イオンモール下田内）  
☎ 0178-50-3182

町章

Oirase's Symbol



町名そのものをデザイン化した町のシンボル。▶緑色は豊かな自然環境と田園定住都市▶青色は奥入瀬川と太平洋▶赤色は住民の活力——を表す。

町のイメージキャラクター

Oirase's Image Character



名前は「おいらくん」。丸みのある顔は OIRASE の頭文字「O」と町民の和、胴体は命の源である水のしずくを表現し、キャラクター化した。

まちの人口と世帯（6月1日現在）

	人口	前月比
男性	12,191	↑ 14
女性	12,922	↑ 4
合計	25,113	↑ 18
	世帯数	前月比
世帯	9,428	↑ 19

Oirase Data

面積 71.88km<sup>2</sup>  
長さ 南北 10.3km  
東西 10.1km  
標高 最高点 60.9m

目次

02 Oirase Front Page  
03 CONTENTS  
04 われら  
太平洋の架け橋とならん  
Oirase Topics  
□町農業委員会委員を委嘱  
□木ノ下小学校大運動会  
□サツキ展  
□北のフルーツパーラー in Oirase ほか  
18  
20 Special Information  
□国民健康保険税の税率は変わらず  
□後期高齢者医療の各種証明手続き ほか  
22 おいらせアーカイブス  
23 公民館講座  
Monthly Oirase Information  
◎お知らせ  
□町職員採用試験を実施します  
□被災者の住宅新築を支援します  
□日本脳炎の定期予防接種が変わります  
□震災被害者支援のため資金を貸し付けます  
□総合計画審議会委員を募集します  
□7月の納税相談日 ほか  
24  
29 国民年金  
30 おいらせ健康カレンダー  
31 戸籍の窓  
32 ZoomUp  
神子沢美希さん（洋光台）

町の花木鳥

Oirase's Flower & Tree & Bird



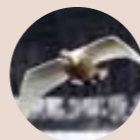
サクラ

Cherry Blossoms



イチヨウ

Maidenhair Tree



ハクチョウ

Swallow

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれる町」の情報誌・おいらせ7月号の印刷経費は1冊約76円です。

— Field of Dreams —

郷土に華やかな風を  
吹かせたい

「悦子となかまの雛のつるし飾り展」は6月14日から7日間、間木地区（袴田良彦さん宅）で開かれ、県内外から大勢のファンが訪れた。製作、展示を指導した真石悦子さんは「仲間たちに支えてもらいながら、最高の展示ができた」と大きな手応えをつかんでいる。



Profile

まいし・えつこ◎ 1939（昭和14）年下田町（＝当時）間木生まれ。59年小学校教諭に採用。翌年夫・徹さんと結婚し、2児をもうける。92年に退職後、裂き織りなど地域に伝わる伝統工芸を始めた。夫と2人暮らし。おいらせ町間木在住、72歳

「雛のつるし飾り」は古い布などを使い、人や鳥などの人形に仕立て上げたもの。いくつもの人形をひもに結びつけ、天井からつるす。簡単に雛人形を手に入れることが難しくかつた時代、それぞれの家庭で手作りの雛がつるされてきたという。

「雛のつるし飾り」は古い布などを使い、人や鳥などの人形に仕立て上げたもの。いくつもの人形をひもに結びつけ、天井からつるす。簡単に雛人形を手に入れることが難しくかつた時代、それぞれの家庭で手作りの雛がつるされてきたという。



（右）雛人形を手にする真石さん  
（上）展示会場には大勢の会員が集い、笑い声が飛び交う



「興味を持ったなら、何としても教わりたい」と思っています。変わった性格なんです」と満面の笑顔だ。

09年には製作技術を習得し、展示などを行うようになった。以来「作り方を教えてほしい」と指導を願う人が押し寄せた。今では20人もの「弟子」と共に活動を展開する。

Special Edition

# われら 太平洋の 架け橋とならん

2011 中学生海外派遣

東部上北教育研究協議会は4月21日から8日間、  
おいらせ町、六戸町の中学生12人を米国へ派遣した。  
生徒たちは数万キロ離れたメイン州キタリー町を目指し、  
広い太平洋を渡った。  
彼らは文化の違う異国で、かけがえのない友を得た。  
彼らは風習の違う国で「頑張って」と力強く励まされた。  
彼らは異国に身を置くことで、自分たちの文化を見直した。  
いくつもの「宝」を胸に、  
大きな夢に向かって羽ばたこうとしている。



▲シャプリ・ミドルスクール（シャプリ中学校）前で記念撮影に望む海外派遣の生徒ら

年	派遣中学生	中学校
1993	佐藤圭一郎、村崎輝美	下田中
	角奈津子、池崎景子	木ノ下中
	西館祐一郎、吉田大輔、鈴木亜都子、相坂真知子	百石中
1994	堤屋雨子、瀬川素子	下田中
	佐々木綾子、中嶋恵里	木ノ下中
	大宮真澄、高館秀典、荒河恵、菊池詩子	百石中
1995	中村竜太、加藤桃子	下田中
	松林直、鳥谷部真理子	木ノ下中
	竹ヶ原大輔、川村衣理湖、佐々木美雪、沼端美幸	百石中
1996	橋本健児、柏崎倫子	下田中
	佐々木絵巳子、村松奈緒	木ノ下中
	石川博康、立崎菜緒子、畠山文菜、吉田仁美	百石中
1997	柏崎修司、伊藤智子	下田中
	新戸部正和、福澤紘子	木ノ下中
	相坂孝之、川原和貴、吉田泉、竹ヶ原由紀子	百石中
1998	中村慎吾、馬場菜津美	下田中
	町屋陽介、久保田千香子	木ノ下中
	川口圭太、藤澤啓右、川口照子、田中千種	百石中
1999	松本亜由美、鈴木寿実	下田中
	寺澤昶、齋藤なおみ	木ノ下中
	山田昌嗣、高橋礼、福津くるみ、川口裕子	百石中
2000	柏崎孝子、袴田麻乃	下田中
	後藤直志、畑智恵	木ノ下中
	石川正基、大野佳世子、平野愛、佐々木美美子	百石中
2001	鈴木夕貴、佐々木寛子	下田中
	緒方沙友里、山田梨恵子	木ノ下中
	浜田大雅、木村沙奈恵、工藤文佳、澤目巴奈	百石中
2004	畑史子、宮仕和季、田中瀨奈、水木英代	木ノ下中
	尾之上祐美、川口蘭、澤口功治、小西千史	百石中
	澤頭俊平、神綱之	下田中
2005	吉岡優衣、沼尾康生	木ノ下中
	遠藤篤子、西館紗也加、大野一樹、小野寺貴之	百石中
	三戸幸也	下田中
2006	西澤朋香、田中一之、水木健裕、今川梨絵	木ノ下中
	高谷美月、馬場祥恵、平野恵美	百石中
	林千尋、袴田未優	下田中
2007	渡辺貫太、有田ゆりか、四戸優美	木ノ下中
	藤ヶ森彩、田畑麻里奈、澤口楓	百石中
	柏崎祐太、小林詩織	下田中
2008	村岡愛美、勝利菜由、沼口菜々美	木ノ下中
	西館史恵、小山田聖那、西館裕加	百石中
	類家宏平、只真由子、遠藤亜衣	下田中
2009	林大世、瀧沢優希	木ノ下中
	竹田捺珠、日ヶ久保遥、境澤南帆	百石中
	柏崎百合香、西條佑紀子、寺澤花恋	下田中
2011	寺澤就	木ノ下中
	小笠原亜美、日ヶ久保保、藤沢いつみ、三村胡桃	百石中

※六戸町（六戸中、七戸中）からも生徒が派遣されている。  
 ※▶2002～2003年は米国同時多発テロ直後▶2010年は新型インフルエンザ流行 — のため、海外派遣は実施されなかった。



担当者に聞いた



東部上北教育研究協議会

## 村上輝仁

Murakami Teruhito

指導主事

東部上北研究協議会の海外派遣は、20年近い歴史のある事業です。今回は渡米直前に震災があり「果たして生徒たちを渡米させても良いものか」と最後まで心配していました。それでも「生徒たちのため、元気で行って来い」と背中を押してくれた関係者には、感謝の気持ちでいっぱいです。

（故人）の絶大な協力を得て、メイン州キタリー町での受け入れが決まった。これまで海外派遣で渡米した本町の生徒は、すでに128人を数える。彼らの多くは、すでに社会人として第一線で活躍したり、学生として更なる高みを目指し勉強に励んだりしている。中には「あのときの体験で、さらに英語への興味が高まった。培った英語力が仕事に生きている」という人もいる。

担当の村上輝仁指導主事は「異文化に身を置いてこそ分かることもある。国際理解を深めるためにも、本事業の意義は大きい」と力を込める。



Yoshioka Yui

木ノ下中出身（静岡県立大学）

2005年に海外派遣に参加させてもらいました。英語だけでなく、世界の文化や風習に興味を持つきっかけになったと思います。今は国際関係学部の学生として、ツアーガイドを目指して勉強中です。世界中の人と交流できたらうれしいですね。



Ishikawa Hiroyasu

百石中出身（会社員）

私は1996年にキタリーへ行かせてもらいました。教科書で知ると大違いで、さまざまな文化の違いを体感しました。米国にいる親戚ともよく英語で話しています。遠く離れた異国に身を置くことで、日本の良さを改めて実感することができました。



▲三井護さん（左、2010年に他界）とキャリア・バーンスさん。三井さんは亡くなる直前まで日米生徒の交流を強く願っていた。共にこの事業の立ち上げに大きく関わった人物だ

しかし、これまでどの町でも組織的に生徒を海外に派遣するシステムはなかった。▼行政や個人が負担する経費をどうするか▼学校の授業に遅れが出ないか▼受け入れ先をどのように決めるか——など、懸案事項は山積みだった。

しかし、当時協議会の英語指導助手（ALT）を努めていたキャリア・バーンスさんは「それならば私の故郷・ボストン近郊はどうか」と提案。現地在住の日本人、三井護さん

## 加藤桃子

さん



Kato Momoko

下田中出身（東奥日報社勤務）

震災の翌日、キタリーで共に過ごした友人から激励のメールをもらいました。心配してもらいながら、状況をやり取りするメールが続きました。キタリーは古里のようなぬくもりがあります。自分の考えを表現することの難しさを知った1995年でした。

海外派遣を経験した生徒らは今や各方面で活躍している。英語力だけでなく、自ら考える力、何事にも挑戦する気持ちで自らの「世界」を切り開く海外派遣経験者の声を聞いた。

# 未来を担う人づくり目指す

東部上北教育研究協議会の「中学生海外派遣」は、異なる文化を理解し合い、未来を背負って立てる人材を育てたいという思いを乗せた事業だ。93年以来、本町はすでに128人の生徒を送り出している。

東部上北教育研究協議会（成田隆会長）が主催する中学生海外派遣事業は、同協議会が管轄するおいらせ町、六戸町の中学生を米国へ派遣する事業だ。

この事業は1993（平成5）年に始まった。百石町、下田町、六戸町の3町が広域的な行政連携を図るために組織した「アクション・サンシャイン・OIRASE（ASO）」の会合で「この地域は米軍三沢基地に近いため、米国人との交流は盛んだ。中学生を海外に派遣する事業を実施してはどうか」という意見が交わされた。行政だけでなく、町民代表の委員も望んだ中学生海外派遣は、次第に現実味を帯びてきた。



Kittery（キタリー）は米国メイン州ヨーク郡南側にある、人口約9,500人の町だ。17世紀の入植者、アレクサンダー・シャプリーの出生地「キタリー・コート（英国）」が名前の由来と伝えられている。主な産業は漁業、造船業など。比較的早い時期に入植が行われていたため、歴史的建造物も多い。



9 日本の中学生訪問は、現地で熱烈な歓迎を受けた。地元新聞「Portsmouth Herald」でも、1面に取り上げられた。現地の関心の高さが伺える

Plan

Days	Plan
4.21	三沢空港→成田空港 成田空港→ニューヨーク
4.22	ニューヨーク→ボストン、キタリー ホストファミリー宅へホームステイ
4.23	ホームステイ2日目 (ホストファミリーとの交流)
4.24	ホームステイ3日目 (ホストファミリーとの交流)
4.25	ホームステイ4日目 (シャプリ中との交流、日本紹介)
4.26	ホームステイ5日目 (歓迎パーティー、ダンス交流)
4.27	ホームステイ6日目 (送迎式典終了後、ボストンへ移動)
4.28	ボストン→ニューヨーク ニューヨーク→成田空港
4.29	成田空港→三沢空港

※月日は日本時間に基づくもの

- 4 キタリー中学校生徒に柔道を教える派遣生。ほかにも書道や日本食など、日本の文化を紹介した。
- 5 電子辞書で英単語を調べる寺澤花恋さん。「単語さえ分かれば、思いは何とか伝わるもの」とおどけた表情
- 6 見学先のサイエンスミュージアムは水族館のようで見所が多い。珍しい生物にカメラを向ける寺澤就さん(右)
- 7 藤沢いづみさん(右)はホストファミリーのクララさんとすっかり仲良しになった
- 8 ホストファミリーの庭で家族と遊ぶ柏崎百合香さん。あまりの庭の広さに驚いたという



- 1 4月21日、飛行機は三沢空港を出発した。成田空港を経由し、米国へ飛んだ。日ヶ久保洸さん(右)、三村胡桃さん(左)はリラックスした表情
- 2 22日朝、陸地が見えてきた。いよいよ米国到着だ
- 3 日米の生徒らはすぐに打ち解けた。シャプリ中学校の生徒と記念撮影する柏崎百合香さん(前列左)と西條佑紀子さん(前列右)



温かいもてなしに、派遣生らの緊張も次第に緩んでくる。歓迎会で派遣生は、日本語化の一つである▼柔道▼書道などのほか、運動会の応援パフォーマンスなどを披露した。これらを初めて間近に見るシャプリ中の生徒から、大きな歓声が上がった。

派遣生は一人一人、別々の現地の人々の家庭へホームステイした。滞在期間中はホストファミリーと寝食を共にする。博物館などの観光地を訪れたり、家の庭や海で遊んだりして交流を深めた。

6日間の滞在期間はあっという間に過ぎ去り、別れの日を迎えた。日米の生徒は涙を流しながら「いつかまた必ず会おう」と約束を交わした。

派遣生を乗せたバスがシャプリ・ミドルスクール(以下「シャプリ中」)に到着した。日本からの来訪者を歓迎するため、大きな拍手が沸き起こった。校内には「Welcome from Aomori (青森からようこそ)」と書かれた垂れ幕が掲げられている。

東部上北教育研究協議会の派遣生12人(おいらせ町8人、六戸町4人)は、現地で熱烈な歓迎を受けた。シャプリ中生徒らは「よろしくね」「日本の震災は大丈夫なの。みんな心配してたんだよ」などと英語で話しかける。彼らの

# いざ、キタリーへ。 キタリーがとう、 キタリー。

今回18回目を迎える東部上北教育研究協議会の海外派遣は4月21日から始まった。訪問先のキタリー町には22日から6日間滞在した。日本の訪問団に、現地は町ぐるみで熱烈歓迎。6日間の滞在期間はあっという間に過ぎ、日米の生徒らは抱き合っ別れを惜しみながら、いつか再び出会うことを誓い合った。



「人間は興味のあることに出会ったとき、それを極めようと努力し、習得しようとする。勉強、趣味、地域活動など、形はさまざまであっても、それを高めていこうとする欲求は共通するものだ。」

しかし、どうしても途中で何らかの障害にぶつかる。障害は自分の前に大きな壁となり、行く手をはばもうとする。あるいは他者を前にすると「果たしてこれで良いのだろうか」と不安に思う。持っている力の半分も出せず、後悔してしまふこともある。

このようなハードルを越えるときに必要なのは「自分なら出来る」という強い自信だ。「これで良いのだ」というゆるぎない信念だ。

言語も習慣も違う国で過ごした生徒らは、勇気を出して自分自身を表現し、心を通わせ合うことの大切さを感じた。国際交流だけでは足りない。人間が生きるうえで必要な「生きる力」でもある。

# 自分自身に自信を持つ。

# 異なる文化を肌で感じる。

「百聞は一見にしかず」ということわざがある。「真実は百回話を聞くよりも、実際に一度自分の目で見たほうが分かる」という意味だ。

他者からの情報は「受け身の情報」でもある。それが果たして真実なのかは分からない。自分自身で確かめることがなければ、仮に「うそ」だつたとしても、それが真実として刷り込まれてしまう。

しかし、自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じて――五感を研ぎ澄ませて得た体験は、その人にとって忘れられないものとして深く刻まれる。頭の中に「経験値」として記憶されるのだ。

遠い異国でかけがえのない友を得たり、自分たちとの風習の違いを感じながら良いことを学び取ったりすることは、生徒にとって「一生の思い出」になる。これから夢に向かって突き進む中で、自分自身を奮い立たせる大きな糧につながっていく。



## 自分の考えをしっかりと持ちたい

私は英語が大好きです。将来は通訳など、英語を生かした仕事に就くことが大きな夢です。ですから今回の海外派遣は、前から参加したいと思っていました。友達も誘いました。日常会話や文法など、基本的なことはこれまでも勉強してきました。でも実際にキタリーの生徒たちと話そうすると「本当にこれでいいの

かな」と思ってしまい、緊張してしまいました。それでも伝えたいことをしっかりと持っていれば、言葉だけでなく表情や身振りでも、十分に伝わるのが分かりました。大切なのは「伝えたいこと、考えをしっかりと持つこと」だと思いました。これからの夢、将来に向け、とてもよい経験を積ませてもらいました。



下田中学校2年 **柏崎百合香**さん

Kashiwazaki Yurika



## かけがえのない友達を得た

ホストファミリーと最初に出会ったのはキタリー町に到着した日でした。最初は緊張して、話をするのもしどきしどきしていました。でも1つ年下のTaylor（テイラー）さんは「日本はどういう国なの」「クルミもソフトボールやってるんだ。私もやっているんだよ」と話しかけてくれました。そうしているうちに、

どんどん話が弾みました。最初心配していたことが吹き飛びました。父Larry（ラリー）さん、母Tricia（トリシア）さん、弟Mathew（マシュー）さんもとても優しくしてくれました。とてもうれしかったです。Taylorとは今でもメールのやりとりをしています。遠く離れていますが、かけがえのない友達を得ました。



百石中学校3年 **三村胡桃**さん

Mimura Kurumi



## 勇気を出して話すことが大切

海外旅行は今回で2回目です。最初は幼稚園の頃、家族や親戚と一緒にオーストラリアに行きました。でもそのときと違い、今回は「自分の英語力を試し、現地の人と交流を深める」という目的を持っていました。授業や事前研修では、英語の日常会話などを繰り返し学んできました。しかし実際に現地に行ってみると、

どうしても緊張してしまうものです。私のたどたどしい英語を聞いたホストファミリーのSarah（サラ）さんは、いつも笑顔でうなずいてくれました。そうしているうちに、私もどんどん自信がわいてきました。コミュニケーションに大切なのは、勇気を出して、気持ちを込めて話すことなんだなと実感しました。

下田中学校2年 **寺澤花恋**さん

Terasawa Karen



## 米国に見習うところを感じた

キタリー町で過ごした7日間は、あっという間に過ぎたように思います。今でも頭の中に、あのとき過ごした日々がよみがえります。私は滞在中「ここは見習わないとならないな」と思ったところがいくつもありました。例えばあいさつなどです。ホストファミリーの家では「Thank you（あ

りがとう）」「Good moonig（おはよう）」などのあいさつが、普通に交わされています。コミュニケーション基本のあいさつだと実感しました。ほかにも積極的に友人と意見を交わしたり、誰とでも仲良くしたりする姿が印象的でした。あの時感じたことを、今度は自分自身で実践しようと思っています。

百石中学校3年 **日ヶ久保洸**さん

Higakubo Hikaru



人間は自分一人だけで生きることができない。「動物」として生き延びることはできたとしても、「人間」として社会的に暮らすことはできない。私たちはこの世に生まれてから、家族や仲間など、多くの人々と係わり合い、自分自身をつくりあげてきたのだ。

他者への感謝を心から感じるとき、人は「ありがとう」と礼を言う。その言葉は関わらざるすべての人を幸せな気持ちにさせ、次のステップへ前向きにさせる「魔法のことば」だ。子どもたちを海外へ行かせることは、大変な労力を伴う。お金、時間、そして心配——さまざまなハードルを越え、大きな支えをもらって、彼らは貴重な機会を得た。

家庭、学校、地域など、関わった全ての人への「ありがとう」の気持ちは、これからも生徒たちの心に刻まれていく。感謝の気持ちは、自分と他者をつなぎ、無限の可能性を広げてくれるはずだ。

# すべての人に ありがとう。

文化、歴史や風習は、人間が長い間培ってきた生活の中で育まれる。地域はもちろん、国によつて大きく違う。

古来、日本人は自然界のモノに「カミ」が宿ると信じ、畏敬の念を抱いてきた。「八百万（やおよろず）の神」という言葉があるように、万物にカミが宿ると信じた。まさに日本は「カミの国」である。モノを大切にし、他人を敬い、礼節を重んじる——家庭や学校で教えられてきたふるまいは、日常生活では当然のことのように思いがちだ。

生徒たちは米国に滞在したのは数日間だが、その短い時間でも、自分たちが教えられ、ふるまってきた風習は「日本ならではの」ものだったことに気付く。そして比べてみて、初めてその素晴らしさ、良さを実感できたのだ。

相手の良さを感じるだけではない。自分自身の良さを知つてこそ、真の交流は生まれ、発展していけるはずだ。

# 遠い異国で 日本を思う。

**Thanks** 家族へ感謝の気持ちでいっぱい

私が海外派遣に行きたいと思ったのは、以前派遣されたことのある知人から話を聞いたのがきっかけです。「価値観が変わる。ぜひ行ったほうが良い」と話を聞いて「私も行きたい」と思いました。

親に相談すると「行っておいで」と快く了解してくれました。でも直前に震災があり、しかも曾祖母が他界するなど不幸ことが続きました。それでも祖母は「ひいおばあちゃんも賛成していたんだよ。行ってきなさい」と言ってくれました。

帰宅したとき、祖母は泣いてよこしてくれました。「よく帰ってきたね」と。私も泣きそうになりました。貴重な機会を許してくれた家族には、感謝してもしきれません。

あみ  
**小笠原亜美**さん  
Ogasawara Ami




**Proud** 日本の良さを改めて実感した

私はシャプリ中学校の授業を見て、驚いたことがあります。授業中でも、生徒が自由に教室を出たり入ったりすることです。授業の内容と別のことをしていても、先生は注意しません。個性を重んじる米国だからなのかもしれませんが、私には不思議なことに思えました。

ご飯を食べるとき「いただきます」という習慣はないようでした。私は「日本ではこうするんだよ」と言って、みんなに「いただきます」「ごちそうさま」を教えました。

文化の違う国に行くと、自分たちが「当たり前」と思っていたことも違うのだと知りました。改めて「節度や礼儀を重んじる日本の良さ」を実感できました。

いづみ  
**藤沢いづみ**さん  
Fujisawa Izumi




**Power** キタリーの人々に力をもらった

現地のみなさんは、私たちが渡米する前から今回の震災のことを心配してくれていました。「津波は大丈夫なのか」「みんな応援している。日本人は一人じゃない」などと書かれている手紙をみんなで読み、力をもらっているような気がしました。

キタリー町のシャプリ中学校に行くと、現地の皆さんは暖かく、そして熱烈に私たちを歓迎してくれました。米国は地震の少ない国のように「地震とはどういうものか」を知らない人が多いのには驚きました。

震災後の大変な時期にも関わらず、私たちに貴重な体験をすることを許してくれた家族、町の皆さん、そして暖かく迎えてくれたキタリーの人々に、心から感謝しています。

しゅう  
**寺澤就**さん  
Terasawa Shu



**Food** 日本食のありがたさを感じた

シャプリ中学校の昼食はバイキング方式でした。スープ、パン、肉類やサラダなどを、好きなだけ取って食べることができます。日本の学校と大きく違うところだと思いました。

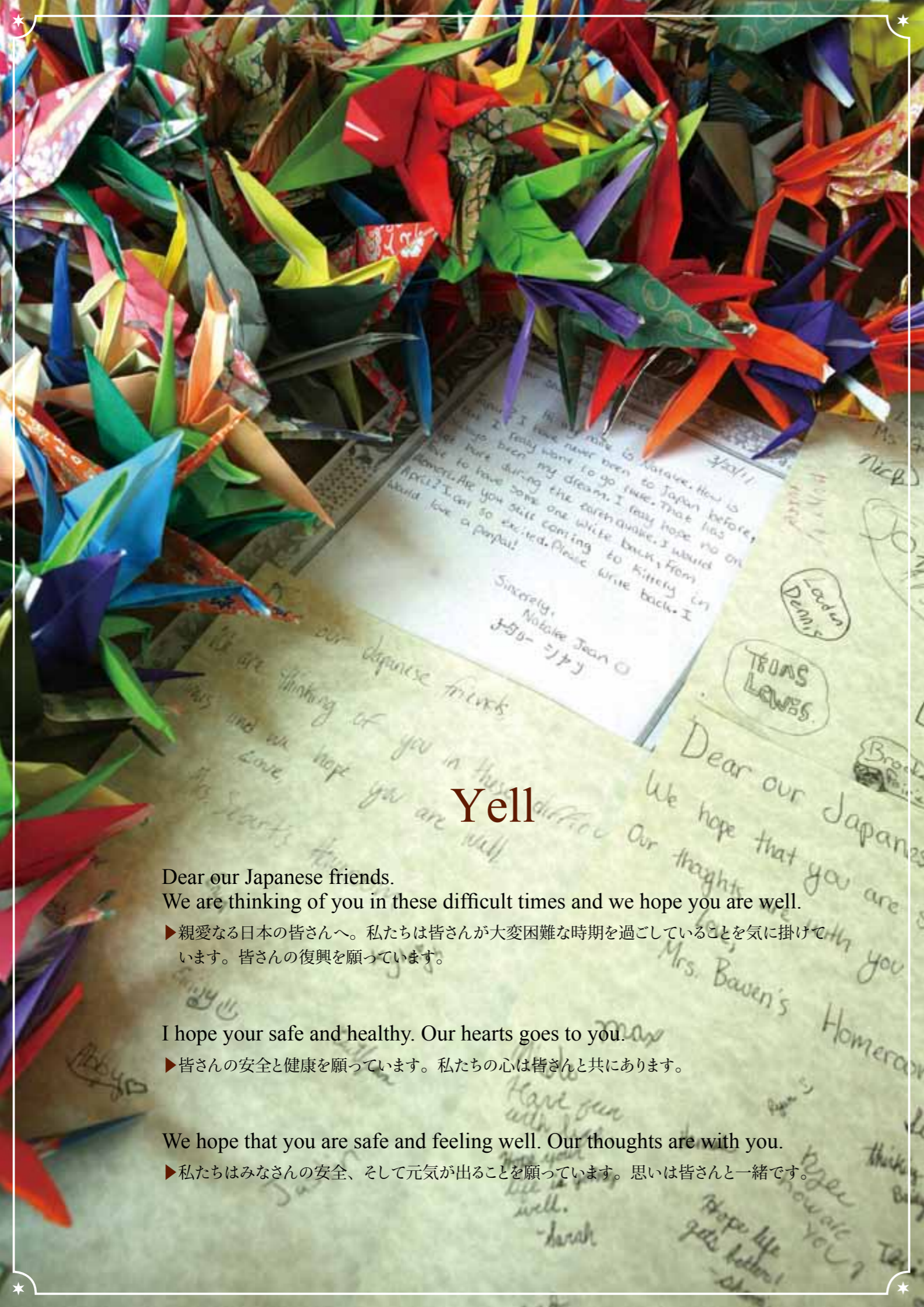
ホストファミリーの家でも、洋風の食べ物が多く出ました。中にはこれまで食べたことのないような料理も出ました。

でも何日も続けて食べていると、どうしても飽きてしまうようになりました。とても毎日続けて食べられません。今まで家や学校で、当たり前のように食べていたご飯、みそ汁や日本茶が恋しくなりました。

日本から離れてみて、改めて日本食のおいしさ、栄養バランスなど、そのありがたさを実感しました。

ゆきこ  
**西條佑紀子**さん  
Saijo Yukiko





# エール Yell

From Kitterly to Japan

1000年に一度といわれた東日本大震災は、遠い米国でも多くの人が憂う大災害だった。震災の起こった国から訪れた派遣生を、人々は温かく迎え、励ましてくれた。「あなたたち日本人は決して一人じゃない」「日本の復興を信じている。応援している」キタリーの人々のエールは派遣生だけでなく、私たちの地域そのものに寄せられたものだった。私たちの国、日本を力強く鼓舞するものだった。



渡米を1ヵ月後に控えた今年3月11日、未曾有の大地震が宮城太平洋沖で発生した。地震は大津波を引き起こし、福島県から岩手県までの太平洋沿岸部に大きな被害をもたらした。本町沿岸部も大きな被害を受け、多くの家などが破壊された。間もなく、シャブரி中生徒から激励の手紙が届いた。「地震、津波で被害を受けた日本人を心配しています」「私たちの思いは、日本人の皆さんと共にあります」「日本は絶対に復興すると信じています」震災からの復興を願う思いが、どの手紙にも切々とつづられていた。家族、学校や地域から送り出された派遣生らは、現地で熱烈な歓迎を受けた。震災後、間もなく訪れた日本人を、キタリーの人々は温かく出迎え、そして再び勇気付けてくれた。彼らは慣れない手つきで、一生懸命折り続けた千羽ヅルを手渡してくれた。一つ一つのツルに、熱いメッセージが込められている。「あなたたちは一人じゃないよ」と。キタリーの人々の激励は、派遣生だけに寄せられたものではなかった。私たちの国、日本に送ってくれた力強い「エール」だったのだ。

## Yell

Dear our Japanese friends.  
We are thinking of you in these difficult times and we hope you are well.

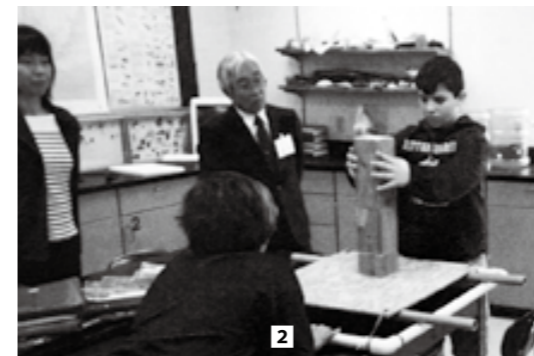
▶親愛なる日本の皆さんへ。私たちは皆さんが大変困難な時期を過ごしていることを気に掛けています。皆さんの復興を願っています。

I hope your safe and healthy. Our hearts goes to you.

▶皆さんの安全と健康を願っています。私たちの心は皆さんと共にあります。

We hope that you are safe and feeling well. Our thoughts are with you.

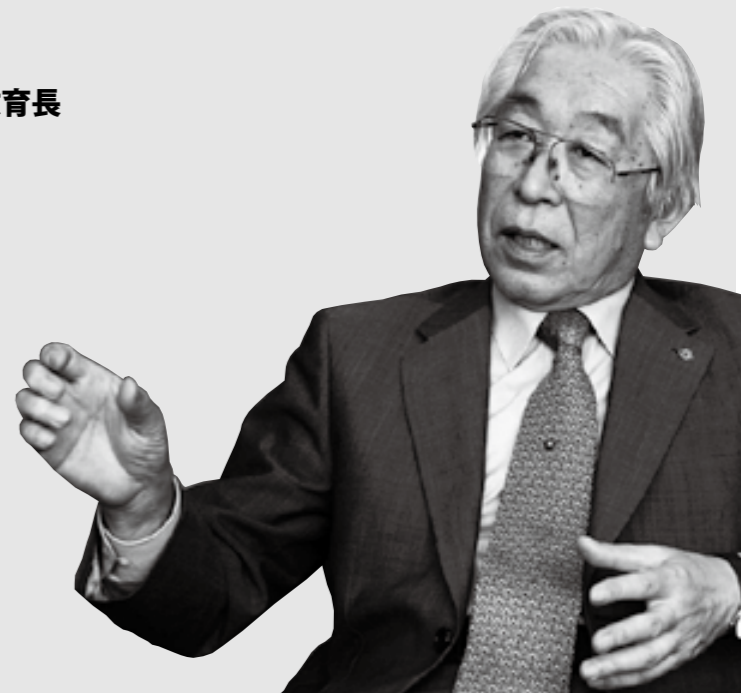
▶私たちはみなさんの安全、そして元気が出ることを願っています。思いは皆さんと一緒にです。



1 渡米前に寄せられた激励の手紙に見入る派遣生ら  
2 地震の仕組みを授業で学ぶシャブリ中の生徒ら。キタリーは米国でも極めて地震が発生しにくい地域。地震を経験したことのない生徒も多い



「異文化を知ることは、母国の文化を知ること」—— 今回の海外派遣で団長として生徒と過ごした袴田健志教育長に海外派遣に寄せる思い、生徒に寄せる願いを聞いた。



## 文化の違いを知り、母国の良さを知り、気概と誇りを持った日本人に育ってほしい

おいらせ町教育委員会

### 袴田健志 教育長

Hakamada Takeshi

私は今回の海外派遣で、団長として生徒たちと共に過ごしました。みんな「米国へ行けるのだ」と、事前研修から目を輝かせていました。現在、米国は日本とは切っても切れない関係にあります。戦後は特に私たちの日本は大きな影響を受けてきました。本町は米軍三沢基地と隣接していますから、普段から米国の人々と交流することも多くあります。

しかし日本国内ではなく、彼らの生活圏へ足を運んで交流を深めることは、そうそうできることではありません。実際に異文化に触れ、言葉の違いに悩み、四苦八苦しなからコミュニケーションをとろうとする生徒の姿を見て、本当にたくましく思いました。

キタリー町長のカーターさんたちからは、熱烈的な歓迎を受けました。「震災で大変だっただろう」「原発は大丈夫なのか」などと、東日本大震災のことを親身に気遣ってもらいました。私事ですが、息子の妻も過去、この海外派遣に参加しました。カーターさんにこのことを話すと「ああ、チハル（智陽）は私の家にホームステイしたんですよ。今でも忘れません」と笑っていました。遠く離れている2つの国が、こんなにも近いものなのかとうれしく感じました。

この違いを体感していたと思います。同時に日本人の節度ある行動、規律を重んじる心、歴史や文化など、母国の素晴らしさを改めて感じてくれたのではないのでしょうか。

この海外派遣は20年近くも前から続けてきた歴史があります。これまで海外派遣を体験した生徒たちは、すでに大人になり、地域に貢献している人も多くいると聞きます。彼らが異文化を知った上で、母国、郷土に誇りを持つてのならば、これは大変うれしいことだと思えます。教育分野はすぐに効果が見えないため、予算を削減されやすい分野です。しかし、こうしてみると確実に効果は現れてきていると信じています。

異文化を知ること、まさに母国の文化を知ること——生徒たちにはそのことをしっかりと胸に刻んでもらい、貴重な機会を与えてくれた家族、学校、地域や町への感謝を忘れないでほしいのです。この町、この国をつくる気概や誇りをしっかりと持った日本人に育ってほしいと願っています。

「われ、太平洋の架け橋とならん」  
今から1世紀前、新渡戸稲造は日米の交流発展に奔走した。今、同じように生徒たちが互いの文化、風習を分かり合い、互いに忘れえぬ思い出を胸に刻み込んでいる。  
おいらせにゆかりのあった「米国に住む日本人」と「日本に住む米国人」は、日米交流の小さな種をまいた。その種は今大きく育っている。おいらせの中学生たちは大きな自信を得て、母国の誇りを得て、明日へ羽ばたこうとしている。「日米に掛かる小さな架け橋」——  
おいらせとキタリーの交流はこれからも未来に受け継がれていく。人を一回りも二回りも成長させながら。きつと、ずつと——



寺澤花恋さんと Sarah (サラ) さん。キタリーで過ごした6日間の記憶は、花恋さんにとって生涯忘れることのない思い出として刻まれる

Special Edition

## われら太平洋の架け橋とならん

2011 中学生海外派遣

▶▶▶ June.11-2011

★ **美** ■ サツキ展  
美しい花々に来場者の目は釘付け



サツキ展は6月11、12日の両日、中央公民館、東公民館の2会場で開かれ、終日多くのファンが訪れました。

会場には盆栽愛好会の会員らが愛情込めて育てたサツキや山野草などが、所狭しと展示されました。美しい花々に前に、来場者は足を止め、その姿に見入っていました。

東公民館を訪れた大木サカエさん（八戸市）は「どれも見事な花ばかりで、本当にきれい。見てると時間を忘れてしまう」と話していました。

◀小向博さん（左）の説明を聞きながら花に見入る大木さん

▶▶▶ June.11-2011

★ **多** ■ 間木堤へのマコモ移植作業  
様々な生態系を支える環境づくり



町観光協会（馬場正治会長）は6月11日、間木堤にマコモを移植しました。当日は20人余りの会員が作業に臨み、汗を流しました。

この作業はハクチョウをはじめとする鳥、魚や昆虫など、さまざまな生物にとって過ごしやすい環境を創出したいという思いで、毎年のように行われています。

木枠を使った「マコモボックス」も去年に引き続き投入。考案者の榎山忠さん（間木）は「マコモはきっと根付く」と自信を見せていました。

◀マコモボックスを設置する観光協会員ら

▶▶▶ June.12-2011

★ **旬** ■ 北のフルーツパーラー in Oirase  
の果実たっぷりスイーツに大満足



「北のフルーツパーラー in Oirase」は6月12日、カワヨグリーン牧場で開かれ、たくさんの家族連れが参加しました。

このイベントは八戸広域観光推進協議会が主催したもの。アグリのリおいらせのイチゴやカワヨグリーン牧場の牛乳などを使ったパフェ、郷土に伝わるわらび餅などを作りました。

参加した川口維都奈さん（甲洋小2年）は「自分たちでつんだイチゴを使ったパフェはとってもおいしいよ」と大満足の様子でした。

◀イチゴたっぷりのパフェを作り、笑顔の子どもたち

▶▶▶ May.20-2011

★ **足** ■ 町農業委員会委員を委嘱  
腰の強い農業育成目指し強い決意



町農業委員会（中川原卓雄会長）は5月20日、柏崎利信さん（59、木内々）、田中正一さん（62、本村）の2人を、新たに農業委員に委嘱しました。

これは4月24日に行われた町議会議員選挙後、議会推薦の2議員に委員を委嘱したものです。

本町の基幹産業は農業ですが、農業後継者の不足や価格競争など、さまざまな課題があります。柏崎さんは「足腰の強い農業を育成したい」、田中さんは「農家の声をしっかり届け、盛り上げていきたい」と意気込みを語っていました。

◀辞命を交付された柏崎さん（右）、田中さん（右から2人目）

▶▶▶ May.28-2011

★ **チ** ■ 木ノ下小学校大運動会  
チームの勝利目指し、精一杯駆ける



木ノ下小学校（木村啓一校長）大運動会は5月28日に開かれ、児童699人による熱戦が繰り広げられました。

競技前の開会式で木村校長は「震災で運動会ができずにいる小学校もたくさんある。こうして笑顔で競技に臨めることに感謝してほしい」とあいさつしました。

100m走やリレーなどで児童が一生懸命走る姿に、保護者らは惜しみない歓声と拍手を送っていました。

◀運動会の目玉「リレー競争」。選手らへ大きな歓声が飛ぶ

▶▶▶ June.03-2011

★ **甘** ■ スイーツ試食アンケート  
いハチミツたっぷりスイーツに舌鼓



おいらせブランド推進協議会（西入重雄会長）は6月3日、イオンモール下田内のおいらせ新鮮市場で「スイーツ試食アンケート」を行いました。

百石高校食物調理科の生徒らは、自分たちで採取したサクラのハチミツを使ったスイーツをふるまいました。今回用意したのはハニーパイ、ハニームースの2種類です。

「ハチミツの味が濃厚」「とてもおいしい」と好評を得た杉浦綱兵さん（百石高3年）は「新しいメニューも開発したい」と意欲を見せていました。

◀試食する客へメニューの特徴を説明する杉浦さん（写真左）

## 国民健康保険税の税率は変わらさず



誰もが安心して医療を受けられるよう、みんなで助け合うのが国民健康保険（以下「国保」）です。今年度は▶医療分と後期高齢者支援分は1万円▶介護保険分は2万円——課税限度額を引き上げます。他の税率などは据え置きです。

	医療分 (0～74歳)	後期高齢者 支援分(Ⅱ) (40～64歳)	介護分 (40～64歳)
所得割* <sub>1</sub>	6.3%	1.9%	1.6%
資産割* <sub>2</sub>	36%	9.2%	8.2%
均等割* <sub>3</sub>	¥27,200	¥7,600	¥9,200
平等割* <sub>4</sub>	¥32,200	¥9,300	¥6,200
課税限度額	¥510,000	¥140,000	¥120,000

国保の税率・税額

**Keyword**  
 \*<sub>1</sub>所得割●世帯加入者の所得に応じ計算される \*<sub>2</sub>資産割●世帯加入者の資産に応じ計算される \*<sub>3</sub>均等割●世帯加入者数に応じ計算される \*<sub>4</sub>平等割●一世帯あたりの金額を計算する

**離職者の国保軽減措置**  
 対象は65歳未満の人のうち▼倒産や解雇などで離職した「雇用保険の特定受給資格者」▼雇止めなどで離職した「雇用保険の特定理由離職者」——として失業給付を受ける人です。

## 後期高齢者医療の各種証明手続き



環境保健課 ☎0178 66 4218  
 青森県後期高齢者広域連合 ☎017・721・3821

●後期高齢者医療被保険者証の変更  
 保険証は2年に一度切り替わるため、8月1日から変わります。22年中の所得状況で、医療費の負担割合が変わる人も更新になります。新しい保険証は7月中旬に郵送します。期限切れの保険証は環境保健課か町民課へ返してください。  
 ●後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証  
 この認定証を医療機関窓口提示すれば、入院時の自己負担限度額と食事代が減額されます。  
 ①交付対象者  
 (1)低所得区分Ⅰ該当者  
 世帯員全員が住民税非課税で、各所得金額がすべて0円の人（公的年金収入は80万円以下）および老齢福祉年金受給者

●医療一部負担金の減免  
 震災で世帯の主たる生計維持者が業務を廃止、休止した場合などは、申請すれば免除になることがあります。

所得区分	負担割合	自己負担限度額(月額)		1食あたりの食事代
		外来	外来+入院	
現役並み	3割	44,000円	* <sub>1</sub>	260円
一般		12,000円	44,400円	
低所得Ⅱ	1割	8,000円	24,600円	160円または210円* <sub>2</sub>
低所得Ⅰ			15,000円	100円

\*<sub>1</sub>◎ [80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 0.01] の額。過去1年間で4回目以降は44,000円です \*<sub>2</sub>◎過去1年の入院期間が90日以下なら210円、90日を越えれば160円です

●限度額・負担額  
 (1)後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定申請書  
 (2)印鑑  
 (3)被保険者証  
 ③申請場所 環境保健課、町民課  
 現在使っている認定証の有効期限は7月31日までです。引き続き低所得者Ⅰ・Ⅱと判定された人には、新しい認定証が交付されます。更新手続きの必要はありません。

## 70歳以上の国保加入者

●国保の高齢受給者証が更新  
 70歳から74歳までの前期高齢者で国保加入者の高齢者受給証は、7月31日に有効期限が切れます。新しい受給者証を7月中に送付します。  
 ●国保の限度額適用・標準負担額減額認定証が更新  
 前期高齢者で医療を受ける人のうち、「低所得者Ⅰ」または「低所得者Ⅱ」の該当者へ交付される限度額適用・標準負担額減額認定証は、7月31日までに有効期限が切れます。  
 ●申請場所 環境保健課または町民課のいずれか  
 ●持ち物 被保険者証、印鑑  
 ●問い合わせ 環境保健課 ☎0178 66 4218

## 各種認定証の手続き

●軽減内容 前年の給与所得を3割とみなします。  
 ●軽減期間 離職した次の日から翌年度末までです。届け出が遅れた場合でも、さかのぼって軽減を受けられます。軽減を受けるためには届け出が必要です。詳細は気軽に問い合わせください。  
 ●持ち物 雇用保険受給資格者証  
 ●問い合わせ 税務課 ☎0178 66 4704

## 70歳未満の国保加入者

入院した場合、認定証を医療機関へ提示すれば、支払い額は自己負担限度額まで軽減されます。現在入院中で認定証が必要な人は、早めに申請してください。  
 現在交付している認定証は、7月31日で有効期限が切れます。8月以降も認定証が必要な場合は、あらかじめ申請が必要です。  
 詳しい内容は気軽に問い合わせください。  
 ●申請場所 環境保健課または町民課のいずれか  
 ●持ち物 被保険者証、印鑑  
 ●問い合わせ 環境保健課 ☎0178 66 4218

## 介護 後期高齢者医療 保険料はこうして納める



保険は一人一人の「支え愛」。幸せでいきいきとした生活を送るためにも、保険料は忘れず納めましょう。  
 税務課 ☎0178 66 4704

	介護保険料(第1号被保険者)	後期高齢者医療保険料
納付の開始	「65歳の誕生日の前日」の属する月	「75歳の誕生日」の属する月
普通徴収	口座振替や納付書で保険料を納める方法です。対象は「年金の年額が18万円未満の人」です。ただし、後期高齢者医療保険料の場合は「介護保険料と合わせた額が年金額の2分の1を超える人」が対象です。納付書は7月上旬に発送します。	対象は「年金の年額が18万円未満の人」です。ただし、後期高齢者医療保険料の場合は「介護保険料と合わせた額が年金額の2分の1を超えない人」が対象です。
特別徴収	年金から保険料が自動的に差し引かれ、納める方法です。対象は「年金の年額が18万円以上の人」です。ただし、後期高齢者医療保険料の場合は「介護保険料と合わせた額が年金額の2分の1を超えない人」が対象です。ただし、次の場合は普通徴収で納めます。 ①介護保険料は65歳、後期高齢者医療保険料は75歳になった約半年から1年の間 ②ほかの市町村から転入してきたとき ③申告のやり直しなど、所得金額が変更になったとき ④年金が停止し、保険料の差し引きができなくなったとき	年金から保険料が自動的に差し引かれ、納める方法です。対象は「年金の年額が18万円以上の人」です。ただし、後期高齢者医療保険料の場合は「介護保険料と合わせた額が年金額の2分の1を超えない人」が対象です。

## 東日本大震災被災者は減免を受けられます

被災者は損害の程度に応じて国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免を受けられます。  
 ●対象 住宅や家財が受けた損害額がもともとの価値の30%以上で、22年の合計所得が1,000万円以下の人。ただし保険などで保証されるものは除きます。  
 ●減免割合 損害程度と合計所得金額に応じて減免します。  
 ●申請受付 特別な場合を除き、それぞれの第1期納付期限の7日前までに受け付けます。  
 ●持ち物 印鑑、罹災証明書  
 ●問い合わせ 税務課 ☎0178 66 4704

# 公民館講座

楽しみながらスキルアップできる講座です。受講は無料。申し込みは町民を優先します。

## 1 Course 小泉百合子さん 健康ストレッチ体操

7月9日(土)、23日(土)、30日(土)、8月27日(土)、9月10日(土)  
19時～20時半  
先着50人(年齢・性別問わず)  
持ち物◎大きめのバスタオルかマット、運動しやすい服装、シューズ  
申込期限◎7月6日(木)まで

## 2 Course 中野加恵子さん 親子でパン作り

8月1日(日)、13時半～16時半  
先着10組  
材料費◎500円  
持ち物◎エプロン、三角巾、筆記用具  
申込期限◎7月20日(木)まで

## 3 Course 楢山忠さん ものづくり体験講座

7月23日(土)、8月6日(土)、18日(土)、19日(日)の4回、9時～12時  
先着15人(小学校1年生以上)  
材料費◎300円  
持ち物◎筆記用具  
申込期限◎7月13日(木)まで  
※発明くふう展への出展も可

## 4 Course 蛭名由美子さん レザークラフト教室

8月30日(火)、9月6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)の5回、10時～12時、先着10人  
材料費◎1回1,000円  
持ち物◎エプロン、タオル、筆記用具  
申込期限◎8月5日(金)まで

生涯学習課 ☎ 0178 4276

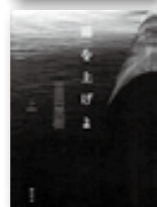
## Oirase new-book's information

図書館おすすめの本を紹介します。



### 県庁おもてなし課 一般書 有川浩 著

ある県庁に突然生まれた新部署「おもてなし課」。若手職員の掛水は人気作家に観光特使就任を打診する。しかし相手にもされない。地方活性化に掛ける苦しくも輝かしい日々が始まった。【町立図書館】



### いかり 錨を上げよ(上)(下) 一般書 百田尚樹 著

戦後10年目—今だ空襲の後が残る大阪に生まれた作田又三。高度経済成長、安保闘争、東京オリンピックや日本列島改造論など、激動の荒波を渡っていく。海図なき嵐の海への航海が始まった。【町立図書館】



### シューマンの指 一般書 奥泉光 著

シューマンにあこがれた天才美少年ピアニスト・永嶺修人。卒業式の夜、彼らが通う高校で女子生徒が殺害された。現場に居合わせた修人は、ピアニストとして致命的な傷を負ってしまう。【町立図書館】



### エースの系譜 一般書 岩崎夏海 著

その高校には野球愛好会しかなく、グラウンドは荒れ果てていた。その監督を任せられた新任教師は「このチームを甲子園に連れて行く」と強く決意した。敗北と再生の青春野球小説。【町立図書館】



### 叫びと祈り 一般書 梓崎優 著

トキャラバンを襲う殺人トスペインの風車の丘で繰り広げられる推理合戦トロシアの修道院での悲劇—1人の青年は、世界各国でさまざまな謎に遭遇する。大型新人の鮮烈なデビュー作。【町立図書館】

ほかにも新着を取りそろえています

疲れない体をつくる免疫力(安保徹)／おかげり。5ねんぶりの生協の白石さん(白石昌則)／観光まちおこしに成功する秘訣(渡辺千賀恵)／リーリーとシンシン(中国パンダ保護研究センター) ほか

## Oirase-library event information

- 本展示 一般◎「家族みんなで外遊び」…アウトドア関係の本 児童◎七夕の本…七夕や星をテーマにした本
- 読み聞かせ会 7月9日(土)、23日(土) 14時から
- 幼児のための読み聞かせ&布絵本で遊ぶ会 7月28日(木) 10時半から
- 7月の休館日 4日(日)、11日(日)、19日(火)、25日(日)

町立図書館 ☎ 0178 3900

## ウマの鈴

【民具ふれあい館所蔵】

文／文化財保護審議会委員 櫻庭俊美



昔、ウマは神の乗り物あるいは貴人の乗り物とされた。ウマの鈴には魔除けの意味合いがあった。鈴は後に装飾性が強くなった。明治以降、ウマは荷馬車や馬籠のけん引に使われるようになる。鈴はオオカミやクマ除け、通報用に不可欠なものになった。鈴は鉄、銅、真鍮などの金属でできている。一つの釣鐘型やドーナツ型を下げるものと、

数個の釣鐘型や桃型の小鈴を下げるものなどがあった。ドーナツ型と桃型には、小さな鉄や銅などの玉を入れ、鳴りものにした。目や鼻の感覚が鋭いウマは、帰家性が優れていた。通った道を覚えていて、誘導を待たず自分の判断で思い通りに歩き「ガラゴン」「ジャンジャン」と首の鈴を鳴らしながら、自分の家、馬小屋に間違いなく戻ってきたという。

## 体育協会加盟団体

Oirase Sports Association

### File 9

## テニス協会

(袴田晃会長、会員26人)

県民体育大会の過去5年間の成績は▶優勝1回▶準優勝3回—と、輝かしい成績を残しています。大会出場だけでなく、テニス教室、テニス大会などの行事も主催しています。

入会希望者は気軽に連絡してください。一緒にテニスを楽しみましょう。

- ◆練習会場 町民交流センター、いちよう公園テニスコート(冬は前者だけ)
- ◆練習日時(いずれも19～21時) 4～11月/毎週月、水、金 12～3月/毎週月、第1・3・5水
- ◆年会費 3,000円

●問い合わせ テニス協会事務局 中川博 ☎ 0176 1563

## アナログ放送は7月24日に終了



アナログ放送は今年7月24日の昼からブルーバックの「お知らせ画面」になり、24時までには全ての放送が止まります。地上デジタル放送(以下「地デジ」)対応の準備をしないと、テレビを見られなくなります。BSアナログ放送も、同じようにBSデジタル放送になります。

アナログ放送終了の間近になると、アンテナ工事などが集中し、間に合わない可能性があります。早めに準備してください。

「何をすれば良いのか分からない」「テレビを買ったのに受信できない」という人には、デジサポ(総務省テレビ受信者支援センター)がお手伝いします。気軽に問い合わせてください。

市町村民税非課税世帯など、経済的な理由などで地デジに対応できない人には、簡易チューナー無償給付などの支援も行っています。詳しいことは総務省地デジチューナー支援実施センターへお問い合わせください。

### ●デジサポ(総務省テレビ受信者支援センター)

☎ 017-771-1010  
<http://digisuppo.jp/>

### ●総務省地デジチューナー支援実施センター

- <http://www.chidejishien.jp/>
- ①NHK放送受信料免除世帯支援 ☎ 0570-033840
- ②市町村民税非課税世帯支援 ☎ 0570-023824

Oirase Town Office Staff

## 町職員採用試験を実施します



総務課  
 ☎0178 56 2166

- 採用予定 一般行政職(若干名)
- 試験の種類 ▶中級試験(短大、専門学校卒業・卒業見込みの人) ▶中級試験(身体障害者) ▶初級試験(高校卒業・卒業見込みの人) ▶初級試験(身体障害者)  
\*上級試験申込みは終わりました。
- 受験資格
  - ①昭和51年4月2日から平成6年4月1日までに生まれ、高等学校以上を卒業(24年3月卒業見込みを含む)し、活字印刷文の出題に対応できる人
  - ②身体障害者は、自力での通勤、介護者なしでの勤務が可能で、身体障害者手帳を持つ人
  - ③▶日本国籍でない▶成年被後見人または被保佐人▶禁固以上の刑を受け、執行が終わっていない人—は受験不可
- 1次試験日 9月18日⑩
- 受験申込用紙の交付 7月1日⑨から町総務課で交付します。郵送希望の場合は「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、80円切手を貼った宛て先明記の返信用封筒(長形3号)を同封し、請求してください。用紙は分庁サービス課でも交付します。町ホームページからダウンロードできます(両面印刷してください)。ただし提出先は総務課です。
- 受付期間 7月1日⑨から29日⑨までです。土日祝日は除きます。受付時間は8時15分から17時までです。郵送の場合は7月30日⑨までの消印なら有効です。
- 提出書類
  - ①職員採用試験申込書(所定のもの)
  - ②卒業(見込み)証明書
  - ③顔写真2枚(うち1枚は申込書に貼り付ける。写真サイズは縦4センチ、横3センチ。受験前3カ月以内に撮影したもの)
  - ④身体障害者手帳のコピー(該当者だけ)

## イベント

### 子育てワークショップ 気軽に参加しよう

園児子ども家庭支援センター  
 ☎017-732-1011

表現遊びや手遊びなど、さまざまな体験活動をワークショップで学ぶことができます。参加は無料です。興味のある人は気軽に参加してください。

- 日時 7月16日④ 10時～12時(受け付けは9時40分から)
- 場所 北公民館
- 講師 多田純也さん(岩手県出身、「ただじゅん企画」や「風光舎」を主宰)

## 福祉

### 身体障害者巡回審査を行います

園介護福祉課  
 ☎0178 56 4705



審査は無料で受けられます。詳しい内容は介護福祉課に問い合わせください。

#### 対象

- ①身体障害者手帳の交付、変更や再認定が必要な人。ただし平衡機能障害は除きます。脳血管障害の審査は、発症から3カ月以上経過した人が対象です。
- ②補装具(補聴器など)の交付や修理が必要な人。電動車いすなど、複雑な診断が必要なものは除きます。

#### 開催日時や場所

##### ●肢体不自由者

- ①7月13日⑩/十和田市東公民館/受け付け8時45分～11時/審査9時半～12時
- ②7月15日⑨/三沢市総合社会福祉センター/時間は①と同じ

##### □聴覚障害者

- 7月4日⑩/野辺地町健康増進センター/受け付け13時15分～14時45分/審査13時半～15時半

##### ●関係機関などへの確認

- ①障害児の聴力測定などは当日の検査は難しいため、指定医師のいる医療機関を利用してください。
- ②車いす、歩行補助つえなどの交付希望者のうち、要介護認定や要支援認定を受けている人は介護保険制度の福祉用具貸与が優先されます。介護福祉課、ケアマネージャーなどへお問い合わせください。

##### ●持ち物 身体障害者手帳と印鑑

## パソコン操作を基礎から学びましょう

パソコン、インターネットの操作などを、4人のITサポーターが基礎から丁寧に教えます。料金は無料。参加希望者は事前に電話で予約してください。



- 場所 役場分庁舎4階会議室
- 定員 それぞれ先着10人
- 申込開始 7月4日⑨から

#### ●7月の講習会

レッスン	日時
①初めての人の「パソコンって何?」	19日⑩ 9:30-11:30
②パソコンに触ってみよう	21日⑩ 9:30-11:30
③好きな文書を作ってみよう(ワード初歩)	5日⑩ 13:30-15:30 28日⑩ 9:30-11:30
④インターネットをやってみよう	12日⑩ 13:30-15:30 26日⑩ 9:30-11:30
⑤数字の魔術師「エクセル」(エクセル初級)	7日⑩ 13:30-15:30
⑥華麗なる文書の舞(ワード応用)	5日⑩ 18:30-20:00
⑦エクセルってすごい、もっとすごい!(応用)	7日⑩ 18:30-20:00
⑧インターネットを楽しもう	12日⑩ 18:30-20:00 14日⑩ 9:30-11:30
⑨電子メールで「お元気ですか?」	14日⑩ 13:30-15:30
⑩写真を撮るとみるみるたまる(デジカメ写真の整理術)	20日⑩ 13:30-15:30 27日⑩ 13:30-15:30

おいらせ町ITサポートセンター ☎0178 56 2019

この講習会は青森県IT活用サポート事業を活用して実施しています

## 食中毒を予防しましょう

夏は気温や湿度が高くなるため、腸管出血性大腸菌や腸炎ビブリオなど、食中毒の原因になる菌が繁殖しやすくなります。食中毒はちょっとしたことに気配りすれば防げます。そのポイントをしっかり押さえておきましょう。



#### \* 食中毒予防—3つの原則

付けない—増やさない—やっつける

#### \* 食中毒予防—6つのポイント

<b>買い物</b> 賞味期限などの表示を確かめましょう。生ものを買ったら、すぐに家に持ち帰りましょう。	<b>冷蔵</b> 冷蔵庫の過信は禁物です。冷蔵庫に入れる食材は、容量の7割程度にしましょう。	<b>下準備</b> 手はこまめに洗いましょう。食材の汚れはよく洗い落とし、包丁などは消毒しましょう。
<b>調理</b> 75℃以上で1分以上加熱しましょう。調理を途中でやめたら、料理はすぐ冷蔵庫へ。	<b>食事</b> 食事前には必ず手を洗いましょう。盛り付けはきれいな食器を使うようにしましょう。	<b>残りもの</b> 調理後、時間が経った食材は捨てましょう。生ごみなどはこまめに捨てましょう。

## 被災者の住宅再建を支援します



町はパークタウン洋光台の土地を購入し、家を新築した人に定住促進助成金を交付しています。

東日本大震災(以下「震災」)の被災者には、さらに助成金を坪2万円程度上乗せし交付します。助成制度の対象になる土地購入期限は27年3月31日までです。被災者への助成金交付は23年4月1日にさかのぼって適用します。詳しい内容は問い合わせください。

- 対象 震災のために住宅に▶全壊▶大規模半壊▶半壊—の被害を受けた人
- 必要書類 罹災証明書
- 1人あたりの助成金額 現行の1坪あたり4万円に2万円を加え、6万円を交付します。

【例】No.164の分譲地(82坪)

	現行(円)	被災者(円)
分譲価格	約812万円	
定住促進助成金額	約323万円	約486万円
助成金控除後の額	約489万円	約326万円

園企画課 ☎0178 56 4701



場所	日時	行事内容
	2 ⊕ 9:00~12:00	運動会
	5 ⊕ 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう (北部児童センター)
	6 ⊕ 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう (南部児童センター)
	7 ⊕、28 ⊕ 10:00~11:00	アフターピクス講座
三田 保育園 ☎ 0178 56-2008	12 ⊕ 10:00~12:00	体験保育 (2歳クラス)
	13 ⊕ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ (お花のこもり作り)
	14 ⊕ 10:00~12:00	体験保育 (1歳クラス)
	19 ⊕ 10:00~11:30	親子クラブ (魚釣り遊び)
	20 ⊕ 10:00~11:30	スクラップブック作り
	21 ⊕ 10:00~12:00	体験保育 (0歳クラス)
	26 ⊕ 10:00~11:30	よちよちひろば (タオル人形作り)
	8 ⊕、15 ⊕、22 ⊕、 29 ⊕ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ
	1 ⊕ 10:00~11:30	ハートクラブ (木ノ下児童館)
	7 ⊕ 10:00~11:30	七夕集会
錦ヶ丘 保育園 ☎ 0178 56-4051	12 ⊕ 10:00~11:30	ピヨピヨサークル
	16 ⊕ 17:30~19:00	夕涼み会
	19 ⊕ 10:00~11:30	すくすくクラブ (北部児童センター)
	21 ⊕ 10:00~11:30	給食体験
	27 ⊕ 10:00~11:30	プナパークで遊ぼう (イオンモール下田隣り)
菜の花 保育園 ☎ 0176 53-8670	8 ⊕ 10:30~11:00	パネルシアター (木ノ下児童館)
	9 ⊕、23 ⊕ 10:00~11:30	保育体験
	12 ⊕ 10:30~11:00	絵本読み聞かせ、リズム遊び (北部児童センター)
	15 ⊕ 10:30~11:00	香りの袋作り (木ノ下児童館)
	23 ⊕ 14:00~15:30	わくわくサークル (ランチョンマット作り)
	5 ⊕ 10:00~12:00	おしゃべりサロン、給食体験
	7 ⊕、21 ⊕ 10:00~12:00	はんど&はあと
あゆみ 保育園 ☎ 0178 52-2206	12 ⊕ 10:00~12:00	ポシット作り
	13 ⊕ 10:00~12:00	ヨガ教室 (あゆみの里)
	14 ⊕ 9:30~12:00	おいらせクローバ
	15 ⊕ 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム (ミニコンサート)
	19 ⊕ 10:00~12:00	親子でお料理 (いきいき館)
	23 ⊕ 10:30~11:00	青空キッズ (中央公園)
	26 ⊕ 10:00~12:00	お誕生会 (4~7月生まれの子ども)

\* 詳しい内容は各センターで発行している通信チラシをご覧ください。

▼糖尿病——など、生活習慣病の発症と大きな関わりがあります。BMI指数が25以上なら肥満です。改善すれば病気を防ぐこともできます。ぜひ特定健診を受けましょう。

●BMI指数  
体重 (kg) ÷ 身長 (m) × 身長 (m)

●健診の種類  
① 特定健診 / 40~74歳の

人が対象です。希望者は保険証を発行している医療保険者 (国保の人) は町が医療保険者) に申し込んでください。

② 基本健診 / 特定健診対象者以外で ▼20~39歳 ▼75歳以上 ▼障害がある一部の65歳以上の人 ▼生活保護を受けている人——が対象。町へ申し込んでください。

資金援助  
震災被災者支援のため  
資金を貸し付けます

東日本大震災 (以下「震災」) で ▼世帯主がけがをした ▼住居や家財に損害を受けた —— 世帯に対し、町は生活の建て直しを支援す

ため、災害援護資金を貸し付けています。  
自動車だけに損害を受けた人でも、その損害を含めて家財の3分の1以上の損害に達する場合は、貸し付けの対象になります。ただし所得制限があります。貸し付けを希望する人は、介護福祉課へ気軽に問い合わせてください。

保健福祉  
日本脳炎の定期予防接種が変ります

環境保健課 ☎ 0178 56 4218

日本脳炎の予防接種対象年齢は ▼3歳~90カ月未満 ▼9~13歳未満——でした。法律改正により5月20日以降、平成7年6月1日から19年4月1日までに生まれた人は、3~20歳未満の間、いつでも接種を受けられます。今年度は3歳児、小学校

3・4年生の対象者に接種を通知していますが、それ以外も対象年齢ならば、無料で接種できます。母子健康手帳などで接種履歴を確認し、下記医療機関で接種しましょう。料金は無料です。

●接種の受け方  
接種は次のように、4回受けるのが基本です。

① 1期 / 3歳の時に2回接種。6~28日の間隔を空けます。その後約1年の間隔を空け、1回接種します。

② 2期 / 9歳の時に1回接種します。

麻しん風しん予防接種  
対象者を拡大します

環境保健課 ☎ 0178 56 4218

法改正により、来年3月31日までの間、麻しん風しんの定期予防接種対象者に高校2年生相当の人が追加されました。

現在、国内では麻しんが発生していますが、国外ではすでに排除できている国があります。そのような国に麻しんを持ち込まないようにするための対策です。海外に行く人、接種を希

望する人は、医療機関で接種してください (無料)。

●町内委託医療機関  
おいらせ病院、石田温泉病院、下田診療所、こんの医院、ケイクリニック (日本脳炎の実施なし)

●町外での接種希望者  
事前に環境保健課へ連絡してください。

肥満の判定ならば  
ぜひ健診を受けよう

環境保健課 ☎ 0178 56 4218

肥満は ▼心臓病 ▼脳卒中

介護保険  
INFOMATION

介護福祉課 ☎ 0178 56 4705

利用者の負担を減らせます。

File 1 高額介護 (予防) サービス費

介護保険サービス利用者の負担額が著しく高額になった場合、利用者負担額から負担限度額を引いた金額を支給します。申請が必要です。

●所得区分ごとの負担限度額

所得区分	負担限度額
生活保護受給者	個人 15,000円
町民税世帯非課税*	世帯 24,600円
① 合計所得金額+課税年金収入 = 80万円以下	個人 15,000円
② 老齢福祉年金受給者	個人 15,000円
いずれにも当てはまらない場合	世帯 37,200円

\* 1世帯全員が町民税を納めなくてもよい世帯

●所得区分ごとの負担限度額

1カ月の利用者負担額 (同世帯に複数の利用者がある場合は世帯合計額) が上記の限度を越えたときは、印鑑と被保険者名義の通帳を持参し、窓口で申請してください。初回申請すれば、翌月以降に対象になった場合は指定口座へ支給額を振り込みます。

File 2 特定入所者介護 (予防) サービス費

介護保険施設などの居住費や食費は、全額個人負担が原則です。しかし低所得者の施設利用を支えるために、利用者負担段階が4段階に設定されています。1~3段階の人は、申請すると負担額を軽減できます。

●居住費・食費の利用者段階

段階	対象要件	1日の減額割合
1	① 町民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者 ② 生活保護受給者	1,380円 ⇨ 300円
2	町民税世帯非課税で、合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の人	1,380円 ⇨ 390円
3	町民税世帯非課税で、第2段階に該当しない人	⇨ 650円
4	上記のいずれにも該当しない町民税非課税世帯 (本人課税)	1,380円

●減額認定の有効期限  
申請した月の初日から毎年6月30日までです。減額認定の継続を希望する人は、申請が必要です。

●負担限度額認定申請の方法  
介護保険施設 (特別養護老人ホームなど) や短期入所介護事業所 (ショートステイ) を利用する場合は、窓口で申請してください。印鑑が必要です。

複製・復元

労働大臣検定一級写真技能士の店  
Photospace  
アトリエ ゆう

おいらせ町上明堂86-27  
Tel: 0178-52-2525  
Fax: 0178-52-2603  
web: http://www.atelier-yu.co.jp

※有料広告掲載欄です

ママといっしょのえいごルーム  
English Room with Mommy

●対象 0~3歳児  
●活動内容  
♪手あそび  
♪リズムたいそう  
♪読み聞かせ  
♪子育て英語  
♪クラフトほか

1レッスン50分で  
料金は1,000円です。  
ご希望の日時を  
お問い合わせの上、  
予約してください。

Tel.0178-56-4006  
E-mail mimura-eigo@auone.jp  
児童英語インストラクター  
三村由貴 (おいらせ町浜道)

※有料広告掲載欄です

## 相談窓口

各種相談窓口を開設  
まずは悩みを相談して

● 企画面談  
☎ 0178 56 4701

● 町民相談  
日時 7月14日(木)、10時  
場所 東公民館

● 行政相談  
日時 7月27日(水)、10時  
場所 中央公民館



相談員 ● 小向恵子



相談員 ● 徳永幸雄  
☎ 0178 56 3850

無料で弁護士との相談を受けられます  
法律の専門家・弁護士が離婚▼相続▼金銭トラブル

## 全国将棋祭り 出店者を募集します

● 園生涯学習課  
☎ 0178 56 4276

● 全国将棋祭り、図書館まつりを一緒に盛り上げましょう。  
● 日程 8月20日(土)、21日(日)の両日  
● 場所 みなくる館

## 子ども人間将棋の駒役を募集します

● 園生涯学習課  
☎ 0178 56 4276

子どもたちが赤組、白組

● 人権相談窓口を開設 気軽に相談を  
● 園町民課  
☎ 0178 56 2246

● 心配事相談の窓口を開設します  
● 園町社会福祉協議会  
☎ 0178 52 7066

● 募集中  
● 園企画課  
☎ 0178 56 4701

● 公民館サークル 簿記同好会・参加募集  
● 園生涯学習課  
☎ 0178 56 4276

● 大山名人杯争奪将棋大会の参加者を募集  
● 園生涯学習課  
☎ 0178 56 4276



● 7月の納税相談日  
● 園税務課  
☎ 0178-56-4704

国民年金の支払いが困難なときは  
保険料の「免除制度」があるんだぜ。



## 免除申請

- ① 申請者本人
- ② 配偶者
- ③ 世帯主の所得で審査



## 失業した場合は「失業の特例免除」

- ① 離職票
- ② 雇用保険受給資格者証のいずれかが必要



## 災害を受けた場合は「災害特例免除」

- ① 罹災証明書
- ② 被災状況届のいずれかが必要



23年度分は(23.7月~24.6月) 22年度分は(22.7月~23.6月)

7月から 7月まで

忘れずに申請を!

監修/Shinya.N 絵/Ryo.O

## 日本一安い葬儀社 有限会社 北浜葬儀センター

- 霊柩車・病院からの遺体運搬・運賃含め、総費用 30万円
- 車代を含まなければ 20万円から

お客様のご予算に合わせて葬儀料を決定。気軽にご相談ください。

おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎ 0178-53-2614

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 金	リハビリ健康相談 ポリオ予防接種	9:30-11:00 13:30-14:00	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談 担当医 * おいらせ病院
2 土				
3 日				
4 月	健口栄養講座	9:30-13:00	いきいき館	対象 * 口の健康に関心がある65歳以上の人
5 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査 認知症予防教室	9:30-11:00 受け付け / 12:30-12:45 9:30-12:00	いきいき館 いきいき館 北公民館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 対象 * 21年12月生まれの子ども
6 水	2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受け付け / 10:00-10:30 受け付け / 13:00-13:30	いきいき館	
7 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
8 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
9 土				
10 日				
11 月	メンズエプロンクラブ(初級)	9:30-13:00	いきいき館	申し込み * 包括支援センター ☎ 0178-52-7086
12 火	リハビリ健康相談 2歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け / 12:30-12:45	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 対象 * 20年12月~21年1月生まれの子ども
13 水	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
14 木	転倒予防教室 転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00 10:00-11:30	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
15 金	リハビリ健康相談 認知症予防教室	9:30-11:00 10:00-12:00	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談
16 土				
17 日	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
18 月				
19 火	リハビリ健康相談 健口栄養講座	9:30-11:00 9:30-13:00	いきいき館 北公民館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 対象 * 口の健康に関心がある65歳以上の人
20 水	9~10カ月児健康相談	受け付け / 10:00-10:30	いきいき館	
21 木	転倒予防教室 リハビリ健康相談	9:30-12:00 9:30-11:00	のびのび館 いきいき館	理学療法士の運動指導 理学療法士のリハビリ指導、相談
22 金	認知症予防教室 3歳児健康診査	10:00-12:00 受け付け / 12:30-12:45	一川目生活会館 老人福祉センター	対象 * 20年1月生まれの子ども
23 土				
24 日				
25 月	町民健診	受け付け / 6:45~8:30	いきいき館	
26 火	町民健診 リハビリ健康相談	受け付け / 6:45~8:30 9:30-11:00	北公民館 いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定
27 水	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士の運動指導
28 木	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室	9:30-12:00 10:30-12:00	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
29 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
30 土				
31 日				

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶯久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苦米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙/ 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/ 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団 地/藤ヶ森/いちょう団地/堀切川/ 川口/明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	7月22日(金)	7月26日(火)	7月25日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 7月6日(水) プラスチック 7月20日(水)	紙 7月13日(水) びん 7月27日(水)	
粗大ごみ	7月8日(金)・22日(金) ★有料予約制 / 1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します

環境保健課 Tel 0178-56-4218

# 戸籍の窓

5月に届け出し、掲載を希望した人を載せています。

久保田真一さん、陽子さん夫婦に待望の次女・桃子ちゃん(右)が誕生。菜々子ちゃん(左)はお姉さんになりました。



こんにちは赤ちゃん

- \* 久保田桃子(真一・陽子) 豊原
  - \* 大栗璃子(伸吾・美奈子) 木ノ下
  - \* 田面木美空(光男・洋子) 緑ヶ丘
  - \* 櫻井逢緒(貴弘・里子) 鶯久保
  - \* 齊藤花怜(譲一・栄美子) 洋光台
  - \* 内藤匠汰・春汰(幸司・まり子) 下前田
  - \* 大山華帆(純也・奈緒美) 藤ヶ森
  - \* 坂井田圭吾(佳優・舞子) 木内々
- 17人

## 結婚おめでとう

- \* 中村蓮斗・春音(喜美雄・ゆかり) 間木
- \* 峯木菜央(裕司・祥子) 青葉
- \* 種市美咲(拓也・千夏) 錦ヶ丘
- \* 舛館美徳(昭則・頼奈) 木崎
- \* 野呂奏之介(健一・さやか) 緑ヶ丘
- \* 品田起良(雄一郎・梢) 藤ヶ森
- \* 荒谷莉穂(憲吾・亮子) 六丁目

- 青柳克彦 青葉
  - 五十嵐陽子 青葉
  - 山崎正太 洗平
  - 川村里美 十和田市
  - 松橋悠二 藤ヶ森
  - 櫛引智美 三本木
- 8組

## お悔やみ申し上げます

- 清水伯享 日ヶ久保
- 近藤友里可 三沢市
- 松林隆博 緑ヶ丘
- 安井雅美 三沢市
- 松林智哉 上野町
- 高田博美 上野町
- 寺田修久 木ノ下
- 蛭名さつき 三沢市
- 木村龍太 緑ヶ丘
- 橋端順子 新郷村

- 山下スエ 103歳 上野町
  - 川口芳太郎 87歳 藤ヶ森
  - 八重垣よしゑ 97歳 三本木
  - 川口三之照 75歳 藤ヶ森
  - 川口みね 63歳 藤ヶ森
  - 柏崎サクラ 84歳 木内々
  - 坂本正美 79歳 豊栄
  - 小向佐次郎 68歳 向坂
  - 木崎タミ 78歳 木内々
  - 櫻庭留吉 92歳 一川目
  - 中村茂 82歳 二川目
  - 玉川ヨシエ 91歳 木ノ下
  - 山下慶市 65歳 緑ヶ丘
  - 佐々木芳隆 72歳 阿光坊
  - 深澤悦子 60歳 黒坂
- 15人

## 編集後記

▼海外派遣生は4月に壮行式に臨み「たくさんのことを得て、元気で戻ってくる」と力強く話していました。たくさんのエールを送ってくれたキタリーの人々の話を聞き、温かい気持ちになりました。そして派遣生の「日本の文化や風習を見直した」という言葉に、頼もしさを感じました▼今年の上北郡総合体育大会は、優勝候補だったソフトテニス、サッカーなどが準優勝に終わりました。ソフトテニスは決勝戦だけが人が出てしまいました。サッカーはスコアレスドローのままPK戦に突入。惜しくも優勝を逃してしまいました。総合順位でも準優勝—あと一歩のところだっただけに、見ているこちらにも悔しい気持ちになりました。選手の皆さん、大変お疲れ様でした

企画課 広報担当  
松林 拓大





# 久々の大舞台に少し緊張した 練習を重ねてチームに貢献したい 神子沢美希 さん (洋光台)

## Profile

かみこざわ・みき＊1991（平成3）年おいらせ町藤ヶ森生まれ。小学校3年生の頃、ソフトテニス始める。百石高校食物調理科卒業後、アレック情報ビジネス学院（八戸市）へ進学。コンピューター関連の仕事に就くことを夢見る。昨年、町ソフトテニス協会に入会し、プレーを再開した。父母と3人暮らし。おいらせ町洋光台在住、19歳

第34回上北郡総合体育大会は6月11、12日の両日開かれ、本町は総合準優勝の成績を収めた。

ソフトテニスは4年ぶりの優勝を目指し、決勝へ駒を進めた。優勝を掛け臨んだ東北町戦だったが、けが人が出てしまう。惜しくもセットスコア3対2で敗れた。優勝を狙っていただけに、悔しい敗戦だった。

去年、町ソフトテニス協会に入会した神子沢美希さんは「久々の大舞台で、最初は緊張して体が動かなかつた」と苦笑い。それでも次第に感覚を取り戻し、決勝戦では貴重なセットを勝ち取った。

それだけに決勝戦敗退は残念だった。「勝てると信じていたからとても悔しい。来年こそは必ず優勝したい」と前向きだ。

かつてのように毎日練習を重ねることは難しい。それでも若きプレーヤーは、少しずつ体力、実戦感覚を取り戻し、チームに貢献したいと燃えている。



がんばろう  
おいらせ。  
がんばろう  
ニッポン。

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広報 おいらせ

No.77 2011年7月1日発行号

発行 おいらせ町／編集 企画課／〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2／☎0178-56-2111／<http://www.town.oirase.aomori.jp>／印刷 青森コロニー印刷